ダイビング参加申込カード

フリガナ　　生年月日　　年　　月　　日

氏　名　　☎

住　所　〒

緊急連絡先氏名：　　☎

■ブログでの写真使用（　OK　/　NG　/　水中での写真のみOK　）

■ダイビング日程　　年　　／　　～　　／　　■最終ダイブ日　　年　　月

認定団体　　認定ランク　　経験本数　　本　※ ナイトロックス認定　あり・なし

■レンタルするものに○印をつけてください　　■ウエイト（アルミシリンダー）　　kg

・BCD　・レギ　・ダイコン　・ウェットスーツ　・マスク/スノーケル　・フィン　・ブーツ　・グローブ

身長　　cm　・体重　　kg　・足サイズ　　cm　・視力　（右　　/ 左　　）

ダイビングのご希望や心配事があればお書きください

〈よく読んでからご記入ください〉

私＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（参加者）はすでに認定ダイバーであり、安全ダイビングのトレーニングを受けており、ダイビングに付随する危険性について十分に理解しています。
また、使用する圧縮空気やエンリッチド・エアには一定の危険が伴うため、再圧チャンバーにおける治療を必要とする傷害が生ずる可能性があることも合わせて理解しています。

私は、健康状態（精神的・肉体的）に不安や問題がない場合のみダイビングに参加することを約束します。
もし私の健康状態に問題がある場合は、ダイビングに参加する前に医師による診察を受け、判断を仰ぐ必要があることも理解しています。
（必要に応じて医師の署名入りの診断書を提出しなければならないことも承知しています。）

私は、講習やファンダイブのガイドを提供する、小林靖、小林淳子、そのほか非常勤スタッフ又は八丈島八丈町大賀郷311-2に所在するクラウンダイバース及びPADIに対して、私がPADIメンバーの指示に従わなかったこと又は私の重大な過失によって私が被った損害について、PADIメンバーに過失が存在した場合においても、その賠償責任を問わないことを約束します。
私は、この書式が単に注意書きにとどまるものではないことを理解し、この書式の内容の全てを確認しましたので署名してダイビングに参加します。
私が未成年の場合は、私の親権者とともに署名します。

参加者署名：　　日付：　　年　　月　　日

保護者署名：　　日付：　　年　　月　　日

PADI 安全潜水実施了解声明書

注意して読んだ後にご署名ください。

この声明書は、スキン・ダイビング、スクーバ・ダイビングを安全に行うために必要なことを知っていただくためのものです。これらを再確認し、了解していただくためにまとめられたものであり、ダイビングをするにあたっての快適度や安全性を増していただくために作成されています。

私＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（氏名を楷書で）は、ダイバーとして以下の事項を守るべきであることを了解しています。

1. 精神的にも身体的にもダイビングに適したよい体調を維持します。ダイビングに影響を与えるアルコールや薬物は控えます。つねに十分なスキルレベルを維持し、継続教育を通じてスキルレベルを高めます。ある期間ダイビングから遠ざかっていたときは、安全なコンディションのもとでスキルの復習をしてコースで使用したテキストを読み直して重要なダイビングに関する知識をリフレッシュします。

2. 私が潜るダイビング・ポイントをよく知ります。初めて潜る場合やダイビング・ポイントの情報が不足している場合は、知識豊かな現地スタッフなどから正式なオリエンテーションを受けます。私が経験したことのある環境よりもコンディションが悪い場合には、ダイビングを延期するか、あるいは良いコンディションのダイビング・ポイントを代替地として選ぶようにします。私の受けたトレーニングや経験にあったダイビング活動にのみ参加するようにします。専門のトレーニングを受けていない場合は、ケーブあるいはテクニカル・ダイビング活動に参加しません。

3. よく手入れされていて、使い慣れている器材を使用します。器材は各ダイビング前に正しく調整し、きちんと作動するかチェックします。スクーバ・ダイビングを行うときは必ずBCDと残圧計を使用します。ダイビングをするときは中圧インフレーター（パワー・インフレーター）付きのBCD、残圧計、ダイブ・プランニング／モニタリング器材（使い方の講習を受けたダイブ・コンピューターやRDP／テーブル）を使用します。認定を受けていないダイバーに私の器材を使用させません。

4. ブリーフィングや注意事項、その他ダイビングに関する説明や指示をよく聞いて、私のダイビング活動を監督する人のアドバイスに敬意をはらいます。また、特別なダイビング活動への参加、不慣れな地域でのダイビング、6カ月以上ダイビングをしていない場合などは追加のトレーニングが必要であることを認識しています。

5. ダイビング中は、最初から最後までバディ・システムを守ります。水中での連絡方法や万一離れ離れになったときに再集合するための方法、緊急手順などのダイブプランをバディと一緒に計画します。

6. ダイブ・プランニングに熟達します（ダイブ・コンピューター、RDP／テーブルで）。すべてのダイビングを安全マージンのあるノンストップのダイビングで行ないます。水中では水深や時間をモニターする計器を使用します。ダイビングの最大深度は、私のトレーニング・レベルと経験の範囲内に制限します。1分間18メートルより遅い速度で浮上します。S.A.F.E.ダイバーになること ― **S**lowly **A**scend **F**rom **E**very dive（すべてのダイビングでゆっくりと浮上）を心がけます。水深5メートルで3分間あるいは用心してさらに長く安全停止をします。

7. 正しい浮力を維持します。BCDに空気を入れなくても中性浮力になるように、水面でウエイト調整をします。水中では中性浮力を保ち、水面移動するときや水面で休息するときにはプラス浮力を確保します。ウエイトはいつでも捨てられるようにしておき、トラブルのときは浮力を確保します。少なくとも1個の水面用シグナル（シグナルチューブ、ホイッスル、ミラーなど）を携行します。

8. ダイビング中は正しい呼吸を維持します。圧縮空気を吸っているときには絶対に息ごらえやスキップ呼吸をしません。また、スキン・ダイビングなどの息ごらえダイビングでは、過剰なハイパーベンチレーションを避けます。水面、水中を問わず、水中にいるときは動きすぎて疲れてしまわないようにし、私の能力の限界内でダイビングします。

9. 可能な限り、ボートやフロート（浮具）、その他の水面用ステーションを設置して使用します。

10. 各ダイビング・ポイントでの漁業規則や、ダイブ・フラッグの使用など、ダイビングに関する法律や規則やルールを守ります。

私は、上記内容をよく読み、不明な点に対しては説明を受け、納得しました。私は、これらの実施要項の重要性と目的を理解しました。これらを守ることが私自身の安全と楽しみのために必要であることを理解し、ダイビングするにあたって、これらの実施要項を守らない場合には私自身を危険な状況においてしまう可能性があることを認識しています。

参加者署名　　日付

未成年の場合、保護者の署名（親権者あるいは後見人）　　日付

PRODUCT NO. 10060J（Rev. 06/14）Version 2.0

© PADI 2009